

# 平成27年度第4回中仙地域協議会会議録

平成27年10月 8日

中仙地域協議会

## 平成27年度第4回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名	4
■協議	4
(1) 地域枠予算事業について	4
(2) 地域協議会及び自治会連合会合同研修会の開催について	4
■その他	8
■閉会	10
■署名	11

■日 時：平成27年10月8日（木）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：9名

遠藤 まき、草薙 幸隆、熊谷 亮、児玉 誠良、  
高橋 一、佐々木 正一、柴田 真希亜、玉井 勝壽、  
傳 農 富士夫

■欠席委員：9名

秋山 康、金子 美喜男、佐々木 亨、高橋 泉、  
高橋 久逸、高橋 成悦、寺田 文夫、松塚 勝男、  
柳田 トシ

■出席職員：6名

高橋 利省（中仙支所長）	伊藤 政子（市民サービス課長）
佐藤 吉一（農林建設課長）	草薙 栄良（中仙公民館長）
山信田 恭弘（地域活性化推進室副主幹）	進藤 哲規（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
  - (1) 地域枠予算事業について
  - (2) 地域協議会及び自治会連合会合同研修会の開催について
- 6 その他
- 7 閉 会

(午後2時00分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

○傳農中仙地域協議会会長（以下「会長」と表記）

本日はお忙しい中、会議にご出席いただきましてありがとうございます。

ドンパン祭りが終わり、夏の暑さが過ぎ去ったように思っていましたら、最近では涼しさを通り越して寒さを感じるような気候でございます。

収穫の秋を迎えまして、それぞれお忙しいと思いますが、大仙市では実りフェスティバルがあるようですし、中仙地域には全国ジャンボうさぎフェスティバルがあると。そしてまた、各公民館におかれましては分館祭りがあるということで、いろいろとイベントがあるようです。それぞれ委員の皆さん、市役所職員の方々もその係にたずさわっているわけでございますが、その労苦に対し敬意を表したいと思えます。

先般、9月11日に大仙市の地域協議会の会長・副会長が集まりまして協議会が開かれました。私と佐々木副会長が出席したわけでございますが、その中で、地域協議会のあり方についていろいろと意見が出され、協議いたしました。

特に委員の出席率の向上ということが課題となっております、どうしたら出席率を向上させることができるのかということが議論されました。本日も18名中、ぎりぎりの9名の出席ということですが、他地域でも同様に懸念されております。この原因がなにかということになると、やはり委員自身の自覚ではないかと。選任する段階において各地区の代表または各団体の代表として選ばれているわけでありまして、無報酬ではありますが選任されたという自覚が大事ではないかと思えます。

第2点といたしまして、地域枠予算の関係ですが、数年にわたって継続している事業が多いということで、毎年同じ団体から申請がだされまして新規団体の妨げになっているのではないかという意見がでました。継続実施されている事業につきましては、3年5年と見直しをかけて検討し補助金を減額するなどして自立を促してはどうかということも協議されました。中仙についても継続事例が多いわけですので、この点についても皆様から忌憚のないご意見をうかがいたいと思えます。

また、地域枠予算にはⅠ型Ⅱ型Ⅲ型があるわけですが、Ⅰ型は市が主体となっております事業でございます、このⅠ型と市の一般予算との住み分けにあいまいさがあるのではないかという意見もだされました。また、Ⅲ型は団体補助でありまして事業費の6分の5以内で上限が30万円となっておりますが、この上限がある以上、やりたい事業があっても上限が30万円となってしまう受益者負担が多くなってしまいます。この上限の撤廃あるいは上限を引き上げるといった話がでました。なかなか市のほうからは「はい」という返事はありませんでした、今後の検討課題ではないかと思えます。

最後になりますが、地域協議会の今までの経過を見ておきますと、地域枠予算ばかりが審議されておきまして、住民の意見を市に反映させるという本来の時間が少ないのではないかという話がだされました。我々も地域枠予算のみならず、住民の思い・要望を市に届けることで、住みやすい街にしていきたいと思えます。

協議会では以上のようなことが議論されまして、後日市当局においても検討されまして報告する機会があるとうかがっておりますので、その節には、また皆さんにご報告申し上げたいと思います。

以上、開会にあたりご挨拶させていただきました。ありがとうございました。

#### ○高橋中仙支所長（以下「支所長」と表記）

本日はご多忙中のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の第4回地域協議会では、地域枠予算事業4件の審議をお願いしておりますが、開会にあたり、これまでご承認いただいた地域枠予算事業の進捗状況をご報告させていただきます。

第1回の案件でありました、類型Ⅱ型の長野中学校16期会が行う環境美化活動は、9月5日に完了し実績報告書が出されております。

第2回の案件でありました、類型Ⅱ型の呑川環境整備事業は、8月23日に完了し実績報告書が出されております。

また、第3回の案件でありました、類型Ⅲ型の元町余興舞台公演事業と、長野駅前余興舞台公演事業は、ともに9月11日に完了し、元町からは実績報告が出されております。

これで承認いただいた16事業のうち、10事業が完了し、継続中が6事業となっております。地域枠予算関係は以上でございます。

続きまして、この機会に中仙支所管内の状況についてご報告させていただきます。

始めに、第31回ドンパン祭りについてでございます。当日は好天に恵まれ、大勢の観客にお越しいただきました。大会本部の発表では4万人の人出ということです。

今年から、事務局が観光物産協会から支所に移りまして、準備から当日の運営まで不安もありましたが、出演者の皆様や多くのスタッフにご協力いただいたほか、企業や自治会などからたくさんのご協賛もいただき、地域の力が一つとなった地域のお祭りとして実施することができたと感じております。

また、ドンパン祭りが1日で終わってしまうのは「もったいない」、いろんな形で関心を持ってもらいたいという思いから、フォトコンテストを実施いたしました。応募総数は18点で、初めての試みでしたが反響があったと感じております。現在、コンテストの入賞作品や歴代のポスターなどを展示した写真展を開催しております。10月1日から12日の月曜日まで、道の駅なかせんで実施しておりますので、ぜひ足をお運びいただきたいと思います。

次に9月15日に中仙地域敬老会が開催されております。中仙地域の対象者は、76歳以上の2,062名で、最高齢は長野の方で106歳、満100歳を迎える方も1名おります。当日は430名が参加され、婦人会の皆様などによる歌や踊りで楽しんでいただきました。

次に間もなく行われる事業等についてでございます。

10月14日に大仙市技能功労者表彰式と祝賀会が行われます。中仙地域からは豊岡の建築大工、井上義男さんと、下鶯野の基礎工事業、藤川一男さんのお二人が表彰されます。

10月17日、18日には、第28回ジャンボうさぎフェスティバルを開催いたします。今年も遠くは愛知県からの出品申込があり、ドンパン祭りとは並ぶ中仙地域の特色あるイベントとして位置づけております。

20日は、ドンパルの主催事業で「中村雅俊コンサート」が開催されます。チケットは即日完売という反響振りで、4日前から並んだ方もいたと聞いております。

同じく20日に、大仙農業元気賞の表彰式と祝賀会があります。中仙地域からは豊川で水稲と畜産を行っている草薙昭平さん（25歳）と、同じく豊川の農業法人さくらファーム従業員田村成久郎さん（32歳）のお二人が表彰されます。

翌21日は市長面会日で、市民が直接市長と対話できる機会になっております。

26日には、地域枠予算を活用した「著名人に生き方を学ぶ集会」がドンパルで開催されます。アルピニストの野口健さんが「富士山から日本を変える」というタイトルで、小学校5・6年生と中学生を対象に講演されます。一般の方も聴講できるようですが、ドンパルで整理券をお求めください。

以上、説明させていただきましたが、委員の皆様には、今後とも様々なご助言やご指導を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

それでは本日の協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により傳農会長にお願いいたします。

#### ○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は草薙幸隆委員と熊谷亮委員にお願いいたします。

それでは次第5の「協議」に入ります。

はじめに（1）の「地域枠予算について」を議題といたします。また、（2）の「地域協議会及び自治会連合会合同研修会の開催について」も関連があるようですので、合わせて事務局から説明をお願いいたします。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

##### 【地域枠予算事業】

##### ・実施類型Ⅰ型

##### 1. 八乙女公園等桜保全事業

事業目的 八乙女公園は、桜の名所として知られる公園であり、毎年桜まつりが開催されるなど、中仙地域を代表する憩いの場となっているが、依然と

しててんぐ巣病の発生が見られることから、継続的な事業実施が必要となっている。八乙女公園の桜を保全することにより、地域の関心を高め後世に残し伝えることを目的とする。

**事業概要** 八乙女公園をはじめとした地域内に分布する桜を保全するため、桜てんぐ巣病感染枝の除去などを行い、地域内の桜環境保全を図る。

- ・作業内容 てんぐ巣病感染枝の除去及び枝処理
- ・実施時期 平成27年12月から平成28年3月

**事業費** 746,600円(賃金・消耗品費)

・実施類型Ⅱ型

1. 中仙地域芸術文化祭開催支援事業

**申請団体** 中仙地域芸術文化祭実行委員会

**事業目的** 中仙地域の芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化活動に対する関心と参加意欲を高め、交流を継続するとともに、次世代へつなぐ芸術文化の振興発展を促すもの。

**事業概要**

- ・開催日 平成27年11月6日(金)～8日(日)
- ・場 所 中仙市民会館ドンパル
- ・主 催 中仙地域芸術文化祭実行委員会・中仙公民館
- ・主 管 中仙地域生涯学習奨励委員協議会  
大仙市芸術文化協会中仙支部
- ・内 容 生涯学習作品展 11月6日(金)～8日(日)  
楽しい芸術文化の集い 11月7日(土)

協賛等

- ・出前民謡「ふるさと民謡めぐり」 11月8日
- ・生け花 小松京春師範 期間中
- ・お茶会 佐々木宗知社中 11月7・8日
- ・米粉食品試食 米夢 11月7・8日
- ・絵本となかよし会 11月7・8日
- ・ラジオ体操第3に挑戦 11月7・8日

**申請額** 69,192円

- ・消耗品費42,192円(用紙代・インク代)
- ・印刷製本費27,000円(文化賞受賞しおり)

2. 中仙地域まちづくり研修会開催支援事業

**申請団体** 中仙地域自治会連合会

**事業目的** 中仙地域には93自治会の他、様々な地域組織があり、それぞれにおいてコミュニティ活動が活発に実施されてきたが、最近では連帯意識の低下や、高齢者世帯の増加など、地域活動を進めるうえで深刻な問題とな

っている。このことから各地域組織が創意工夫による地域活動や共助活動など、安心して生き活きと生活できるまちづくりを実現するため、中仙地域協議会と中仙地域自治会連合会が合同で開催する研修会を支援する。

事業概要 ・日 時 平成27年11月2日(月)午後4時(予定)  
・場 所 中仙農村環境改善センター  
・主 催 中仙地域自治会連合会  
・共 催 中仙地域協議会・大仙市中仙支所  
・対 象 中仙地域内の地域協議会委員、自治会長、  
自主防災組織代表

申請額 21,854円  
・郵送料11,854円(封書127通、返信はがき34通)  
・消耗品費10,000円(紙代、インク代等)

・実施類型Ⅲ型

1. 中仙八乙女会ふるさと芸能まつり開催事業費補助金

申請団体 中仙八乙女会

事業目的 中仙地域の芸術文化の発展と向上を図り、地域の活性化を目的に開催する中仙八乙女会による芸能発表会を支援する。

事業概要 ・開催日 平成27年11月3日(火)  
・場 所 中仙市民会館ドンパル  
・内 容 中仙八乙女会による芸能発表

補助金額 300,000円  
・事業費420,000円(報償費、食料費、消耗品費、印刷製本費、  
使用料及び賃借料)  
・補助金額  $420,000 \text{円} \times 5/6 = 350,000 \text{円}$  (限度額 300,000円)

【地域協議会及び自治会連合会合同研修会の開催について】

・中仙地域まちづくり研修会

日 時 平成27年11月2日(月)  
午後4時予定  
主 催 中仙地域自治会連合会  
共 催 中仙地域協議会・大仙市中仙支所  
開催場所 中仙農村環境改善センター ホール  
講 演 (仮称)大仙市雪計画について  
講 師 雪対策推進室・今室長  
対象者 地域協議会委員 18名  
自治会連合会会員 108名



	自主防災組織会長	64名 (10/7現在)
	支所職員	8名
案内者	市長	
	中仙地域市議会議員	5名

・中仙地域行政交流会

日時	平成27年11月2日	
	午後5時30分(予定) ※中仙地域まちづくり研修会終了後	
開催場所	平熊会館	
対象者	地域協議会委員	18名
	自治会連合会役員	20名 (新旧役員、再任4、地協委員3除く)
案内者	市長	
	中仙地域市議会議員	5名
	講師	1名
主催	中仙地域協議会・中仙地域自治会連合会	
共催	中仙支所	

○会長

ただいま事務局より説明がありましたが、1件ごとに皆さんからご意見をいただきたいと思ひます。

最初に実施類型Ⅰ型の「八乙女公園等桜保全事業」の開催事業でございます。事業費746,600円です。皆さんからご意見を承りたいと思ひます。

(異議なし)

異議がないようですので申請どおり認めたいと思ひます。ありがとうございました。

次に実施類型Ⅱ型でございますが、「中仙地域芸術文化祭開催支援事業」でございます。申請額は69,192円です。ご意見ございませんか。

(異議なし)

異議がないようですので申請どおり認めたいと思ひます。ありがとうございました。

次に「中仙地域まちづくり研修会開催支援事業」でございます。申請額は20,854円です。ご意見ございませんか。

(異議なし)

異議がないようですので申請どおり認めたいと思ひます。ありがとうございました。

次に実施類型Ⅲ型でございますが、「中仙八乙女会ふるさと芸能まつり開催事業費補助金」でございます。申請額は事業費の6分の5のさらに限度額の300,000円です。ご意見ございませんか。

○玉井勝壽委員

この事業は毎年の継続事業でしょうか。

○会長

今回で4回目になります。

他にございませんか。

(異議なし)

それでは申請どおり認めることといたします。ご審議いただきましてありがとうございました。

○会長

次に次第6のその他でございますが、委員の皆さんからなにかございませんか。

先ほどのあいさつでもふれましたが、地域枠予算の審議だけではなくて、常日頃、委員の皆さんが感じているご要望なども述べる機会でございますので、ぜひご意見を賜りたいと思います。

○玉井勝壽委員

資料にある「平成27年度中仙地域枠予算事業」について、資料に予算額・支出額・残額があります。実施類型ごとに集計し、残額がでているようですが、これは一度類型が決まると他の類型で残額を活用することができないのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

この予算額については昨年の11月の段階で、過去の実績を見ながら要求した予算となります。地域枠予算という性質上、新年度にどのような事業がどれだけの規模で行われるのかは正確にはわかりません。この予算額はあくまで過去の実績をもとに配分された予算を分けているものですので、実際の予算執行段階でどうしても差異がでてきてしまいます。ただ、類型間の残額については流用等で対応可能です。

○玉井勝壽委員

資料では予算に対して217万の残がありますが、今後の執行の予定はどうでしょうか。毎年この時期になると残額の問題がでてきます。地域枠予算は繰り越しができないので、地域のための予算が残ってしまうというのは問題だと思います。

○会長

毎年、最終的には90%以上の執行率となっているようです。冬季間、年度末も地域枠は利用できると思います。

○支所長

年度末であっても、その時期に実施できる事業であれば利用できますので、地域に周知し、利用していただければと思います。

○玉井勝壽委員

できれば残のないように執行していただきたいと思います。地域への予算が足りないと言っている一方で、そのような予算に残があったのでは地域の方に申し訳ないなど。

○支所長

市の一般予算のように道路の整備等に利用できれば良いのですが。ぜひ今後の執行方法については委員の皆様からご提案をいただきたいと思います。

○会長

ちなみに昨年の他地域をみますと、大曲地域が執行率75%で、あとの地域は98~99%となっています。大曲地域は使いきれない状況のようです。

ほかにございませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

事務局より、お願いということでお時間をいただきたいと思います。

大仙市では、旧市町村を単位として地域活性化事業を実施するという事で、中仙地域でも活性化のための新しい事業の検討を進めています。

中仙としては今年、自治会連合会の開催方法の見直し、6つの地区単位での開催としました。この見直しについて出席者からは、地区単位のほうが集まりやすく、話しやすいといった声をいただきました。このこともふまえ、6地区の公民館分館を拠点とした地域活動の推進というものをまず1つ、案として考えております。

あと、ドンパン祭りについて、中仙地域の一大イベントとして定着してきていますが、これまでは1日だけの開催で終わってまいりました。ですが、今年は先ほど支所長が言いましたとおり、フォトコンテストを実施しまして、現在は道の駅を会場に「ドンパン祭り写真展」を開催しております。このようなドンパン普及に向けた継続した取り組みも必要ではないかと考えております。

今ご説明しました公民館分館を利用した活性化策や、ドンパン祭りを活用した活性化策に対するご意見でも結構ですし、この他にも地域を活性化させる案がございましたらご提案いただければと思いますのでよろしくお願いたします。

○草薙幸隆委員

今、活性化策であげられた分館制度というものは他の地域に比べて特殊なものですが、実際、集会一つとっても一同に集まるよりは活発な意見がでるものと思います。住民の活

動には距離感というものも大事なので分館をうまく活用して行ってほしいと思います。

関連してですが、各分館は財政的に非常に疲弊しております。豊岡公民館でいえば掃除機が壊れても買えないような状況があります。また、隣のサンビレッジは毎日のように利用される施設なので草刈等の環境美化も必要となります。しかし、予算が少ないため、公民館の協力員にボランティアをお願いしているような状態です。ボランティアはありがたいですが限度があります。ぜひ予算面でもう少し配慮いただけないものかと思えます。

また、これはPRになります。10月10日11日と豊川分館祭りがありますのでぜひお越しください。

#### ○支所長

私のところにも各分館からご案内がありますので、できる限り足を運んで来場者の1人に加わりたいと思っています。この来場者数というものも1つの判断基準になるものかと思えますけれども、地域活性化については「こうなれば活性化された」という判断基準についても委員の皆さんにお考えがあれば教えていただきたいと思えます。

市のほうでもいろいろ計画を立てて実行し、何十人来た、何百人来たといいますが、果たしてそれが住民の望む結果であったかどうかなかなか我々には判断が付きません。例えば参加人数は少なかったけれども、このような取り組みをやったこと自体が評価いただけるといったようなものもあれば計画に盛り込んでいきたいなと思えます。

#### ○佐々木正一委員

分館祭りと言えば、分館祭りラリーのようなものもいいかもしれません。スタンプラリー形式で景品があたるような。6分館すべてを回ってもらえると相当な人数が入ってくれるのでは。

#### ○会長

公民館長、ぜひ検討してみてください。

#### ○草薙公民館長

大変いいお話だと思います。我々が気づかないこともたくさんありますので、いろいろな意見をいただければと思います。

#### ○会長

他にございませんか。


(なし)

皆さん長時間にわたり協議いただきましてありがとうございました。次回も皆さんから活発な意見を賜りますようお願いいたしまして閉会いたします。ありがとうございました。

(午後 2 時 5 4 分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

真 菰 寺 隆 

熊 谷 亮 

中仙地域協議会